

令和4年度和歌山県立那賀高等学校第1回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和5年3月3日(金) 11:50~13:00

2 会 場 那賀高等学校 校長室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 校長あいさつ

委員への出席に対するお礼

(3) 学校運営協議会委員自己紹介

各委員からの自己紹介及び学校関係者の紹介

出席：岸田 正幸 細田 能成 福山 晴美 東 博子 森 勝博

欠席：大西 英喜

傍聴者：教頭 事務長 進路部長 教務部長 国際教育部長 2学年主任
特活部長

(4) 学校運営協議会議長選出

議長：岸田 正幸 会長

(5) 協議題

ア 令和4年度和歌山県立那賀高等学校運営方針について

- ・ 学校長や各部長から本年度の取組等について説明

コロナ禍において球技大会・那高祭・遠足・修学旅行・演劇鑑賞など那賀高校としての行事全て実施できた。3月10日からシアトル研修旅行を実施予定にしている。来年度の目標は、学習指導要領が1年生から改定された中で、学習活動をどうしていくかが課題である。進路状況は、ほぼ例年に同じであった。

働き方改革について、会議の職員朝礼や職員会議など在り方を改革した。特に職員会議は、DX化を図りペーパーレスで実施することができた。

(意見)

- ・ コロナ禍の中での行事の実施は大変であったのではないかと。良い取組ができたと思う。先生方が大変であったと思う。ありがとうございました。
- ・ 昨年度卒業の生徒たちから羨ましいほどの今年度の取組であった。

イ 令和4年度キャリア教育支援授業の実施状況について

- ・ 学校長から説明

小学生学習支援ボランティアがコロナウイルスのため実施できなかったが、やまなし公演や国際科の小学生英語出前授業を実施して一定の成果を収めることができた。国際科は、オンラインで海外の学校との交流ができた。本年度から設置された那賀振興局の地域課に協力いただき、2年生の「総合的な探究の時間」の授業を展開することができた。

(意見)

- ・ 本日のキャリア教育支援授業では、2年生のクラス代表生徒が登壇し、体育館でパネルディスカッションを実施した。真面目な生徒たちがパネラーであったため全員が本音で話せたかどうかは疑問であるが、中には核心に迫った発言などもあり、

充実した内容であったと感じている。

- ・ 本校の教育目標の1つでもある「自ら学び鍛える那高生」の気持ちが本日の取組から伝わってきた。学校行事が生徒たちにリズムを与えていることが、生徒たちの発言から伝わってきた。
- ・ 将来について生徒たちがしっかり考えていることに気づいた。傍聴していた生徒たちも、代表生徒の意見を聞くことによって、自分のことについて考え直す機会が持てて良かった。素晴らしい時間であった。会長の岸田先生が上手に生徒の意見を引き出してくれた。
- ・ 最上級生になった今日のタイミングが良かった。考え直せる時期であった。
- ・ 大人にとっても「メタ認知」ができ、考え直せる場であった。
- ・ 那賀高校の教育が安定の時期に入ったのではないか。自分たちにとって行事が大切であると生徒が気づいてきたのではないか。
- ・ 学校の進むべき道が教員や生徒が共有できてきているように感じた。

ウ 令和5年度本校学校運営協議会が主催する事業について

- ・ 学校長から説明
次年度のメンバーに那賀振興局の方を入れてはどうか。
- ・ 本年度は、2年生の「総合的な探究の時間」に10名の講師を派遣いただき、何度も学校に出向いて協力してくれた。
- ・ 運営協議会は評論家の組織ではないから、委員も一緒になって動いていかなくてはいけない。そういった意味でも那賀振興局からも入ってもらうのが適当である。

エ その他

(6) 閉会

校長謝辞

4 資料

- (1) 令和4年度和歌山県立那賀高等学校運営方針について
運営方針、教育目標、スクールポリシー、身につける力
令和4年度学校評価シート
- (2) 令和4年度那高キャリア教育支援事業の実施状況について



